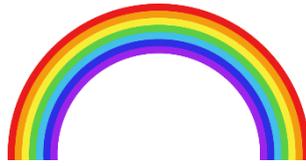


進路だより



富岡特別支援学校
 移行支援部 No. 8
 令和8年1月28日(水)

PTA 進路研修会・校内研修

1月14日(水)「進路実現に向け在学中から準備しておいた方が良いこと」と題し、リンクカラフル富岡 管理者・サービス管理責任者 山田祥子様より講演をしていただきました。



株式会社ソレイユ リンクカラフル富岡の紹介 富岡市富岡 1187

障害福祉サービス 就労移行支援・就労定着支援・自立訓練(生活訓練)の事業所です。昨年度 HOPE GARDEN 富岡からリニューアルされました。

活動日：月火木金 10:00~15:00、水 10:00~13:00、土日祝休み、送迎サービスあり

〈就労移行支援〉

就職を目指す方が通所し、作業訓練やビジネスマナー講座、コミュニケーショントレーニング、体力づくりなど、働くために必要なことを学ぶ。就職活動のサポートを受けられる。

利用期間：2年間

〈就労定着支援〉

就職されて6ヶ月経過後から3年間、職場に定着できるように本人及び就職先企業の方と、月に1回以上の頻度で面談等を実施し、状況の確認や本人への助言など必要な支援を受けられる。これにより、離職率の低下につながる。

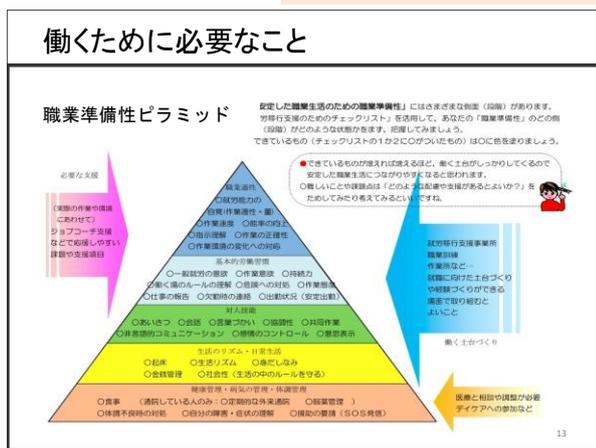
〈自立訓練(生活訓練)〉

自立した生活に向けて必要な活動ができる。生活リズムづくり、体調管理、人との関わり方など、通所を通して身に付けていく。

利用期間：2年間

講演内容

働くために必要なこと≡求められること



1. 安定勤務

安定して勤務するためには

- ・体調管理 心身ともに...
- ・体力・情緒の安定 (心の強さ・しなやかさ)

- ・生活リズムの安定

今から準備しておいた方が良いこと

- ・生活リズムを崩さずに、日中活動をする (それが当たり前と習慣づける)

- ・基本的な生活習慣 (食事、栄養、睡眠、排泄など)
- ※清潔の保持(家庭内の方針が一般社会の当たり前と一致していること)

- ・医療との適切な連携

2. 報連相

仕事をこなすために必要不可欠

- ・何をすればよいのか理解し、必要な報告ができること
- ・分からない事を分からないままにせず確認できること
- ・困った時には相談できること

※できないことを補う配慮については、事前にまとめて伝える

今から準備しておいた方が良いこと

- ・日々の生活や活動の中で、報連相を意識したやりとりをしてみる (模範をみせる) (先回りすぎない)

※自己理解の上、必要な配慮事項を伝えられるようにしておく (保護者、支援者共有)

3. 協調性(コミュニケーション)

他者と良好な関係性を保てる力

- ・基本のあいさつ
- ・人の話を聞ける
- ・素直さ
- ・柔軟さ

「協調性」とは

※まずは「その場に静かにいられること」が協調性の第一歩
 ※「嘘」や「ミスをごまかす」事は論外
 素直に相談することで雇用側との信頼関係が深まる。対応を雇用側と一緒に考えることができる。

今から準備しておいた方が良いこと

- ・あいさつ(お礼や謝罪も)は自然にできるように日常的に習慣付ける。
 ※言えよという歌ではなく、言い方や頻度によっては場の雰囲気を乱すこともあるのでそのあたりの調整も必要。
 ※実習生のうちは、できなくてもほほえましいが、学生のうちに調整が必要。

- ・良いところを伸ばす視点
 ※ミスや間違い、できない事をただ叱ることは逆効果「ヒントはチャンス」
 ※素直で柔軟な態度でいることで良い結果へ結びつく経験を積む

講演内容

当所スタッフから、進路実現・働くために大切なことについての意見 まとめ

◎とにかく休まず通所、出勤できることは強みになる！

◎言われたことを言われたように取り組む姿勢

(仕事への向き合い方:「雇用される立場」「お給料に見合った働き」)

◎元気なあいさつ

◎生活リズムを整えて遅刻欠勤しないこと

◎集団の中でトラブルを起こさず穏やかに過ごせること

◎気持ちの切り替えがうまくできること

◎支援機関と保護者が円滑に連携をとれること

◎本人が「こうなりたい」とイメージを持っている人は強い。例えば「働いたお金で〇〇を買いたい」「△△さんのように働きたい」など、具体的な目標を持ち、選択肢の中から自分で選んで決めた方は長く安定就労継続している。

19

可能性と限界について

生徒さん、お子さんが成長し「就労」する姿はまだ想像が難しいかもしれません。

しかし、どのような形であれ社会で自立していく姿は、確実に訪れる未来です。

今日お伝えしたことをはじめ、若いうちに身につけておく良いことはたくさんあると思います。歳を重ねたあとでも身に付きませんが確実に困難が増します。

各々の能力の限界は障害の有無関係なくあると思いますが、習慣付けによって身に付けた強みは、将来の進路選択の可能性を大きく広げるものだと思います。

すべてを完璧には考えず今できる事からはじめてみてはいかがでしょうか。

大人が限界を決めてしまう前に、今できることを実行し可能性を少しでも広げておくことが、時代に沿った将来の安定生活に繋がるのではと思います。

20

〇質疑応答の内容を一部ご紹介します

- ・職場体験や現場実習等で、ここを見ておくとよい、という視点を教えてください。
→実際の職場でイメージしてみる事です。また、企業担当者の考えや理解が深くても、現場に行き届いていないことがあるので、現場の配慮や雰囲気を確認しておくことがポイントです。
- ・就労移行支援の利用期間の2年が過ぎたら、辞めることになるのですか。
→2年間で就職はできなかったけれど、もう少しという場合には、1年延長期間がもらえます(実績があることが条件)。就職が難しい場合は、相談支援事業所と相談して、他の福祉サービス事業所に受け入れてもらえるよう繋いでいきます。
- ・年齢による就労率を教えてください。
→就労移行支援事業の利用者は平均40歳くらい。これまでに約120名(療育手帳を持っている方は1割程度)と関わったが、就職率に年齢は関係なく、通所実績がよいか悪いかが影響していると感じます。就職した方47名中、60代以上の方は3名、療育手帳を持っている方が約3割でした。療育手帳を持っている方の就労率が高いです。特に特別支援学校を卒業された方は、家庭や学校で学んだ生活習慣が、身に付いているのだと思います。

〇出席された方からの感想

- ・普段からしっかり顔を見て挨拶することが大事だと実感しました。
- ・現場の方の話聞くのはとても勉強になります。
- ・卒業後の進路に向けて、今から準備しておきたいこと、求められていることが、よく分かりました。小学部、中学部、高等部で基本として積み重ねて取り組んでいる学習内容が、大変重要であり、丁寧に繰り返し指導していくことが大切である、ということを実感しました。
- ・就労するために早くから準備、保護者としても勉強が必要だと思いました。これから先のイメージが少しできました。
- ・就労について、本当に分からないことばかりなので、具体的な話が聞けて理解を深めることができました。また働くために必要なことなど家族として先を見越した関わり方をする中で少しでもプラスになるよう援助していきたいと思いました。

